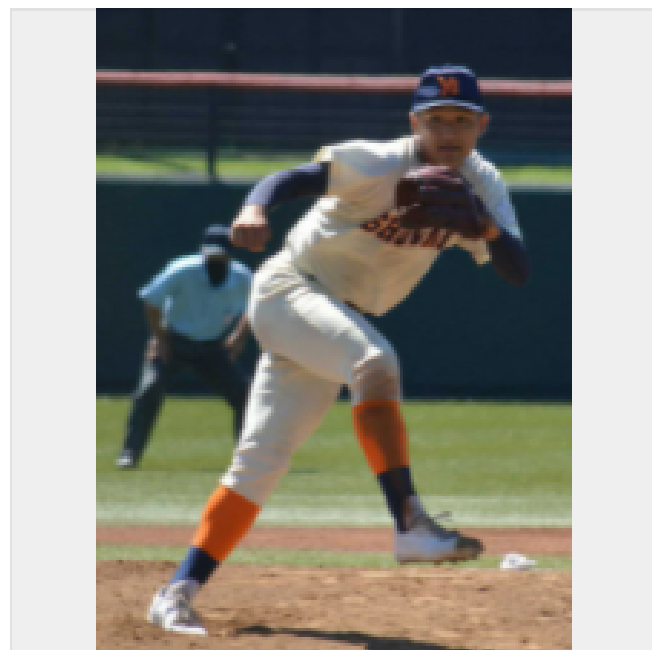


## 横浜商大高4強 エース右腕・浜田大翔が1失点完投「アウト一つ」

9/20(月) 13:18 配信 6



<横浜商大高・藤沢翔陵>好投を見せた浜田 (撮影・川島 毅洋)

◇秋季高校野球神奈川県大会準々決勝 横浜商大高  
5―1藤沢翔陵 (2021年9月20日 大和)

横浜商大高が藤沢翔陵に競り勝ち、4強入りを決めた。

先発したエース右腕・浜田大翔 (2年) が10安打を浴びながら要所を締め、1失点で完投。「自分は大した投手ではないので、アウト一つ一つを丁寧に、というのを徹底していった。自分のベストパフォーマンスを出すことを心掛けた」と胸を張った。

日吉中では横浜青葉ボーイズに所属。外野手としてプレーしていたが、高校入学後に本格的に投手に転向。2年春からエースナンバーを背負う。最速141キロの右腕に、八木沢辰巳監督は「冬を越えて球速が上がって、土台がしっかりしてコントロールも良くなった。気持ち強いのも特長。今日は良く粘った。彼に尽きる」と評した。

高校球児が甲子園でプレーする動画を研究し「投手のフィールディングや走者が出たときの落ち着きとかを見ている」。今夏甲子園で優勝した智弁和歌山のエース・中西聖輝 (3年) を参考に、どんな場面でも冷静な振る舞いを心掛けている。

25日の準決勝に向け、浜田は「チームのために一球一球、死ぬ気で投げる。立ち向かっていきたい」と前を向いた。 (川島 毅洋)